

入院診療計画書② 人工股関節置換術(前方アプローチ)を受けられる方へ

患者ID: _____

新規作成日: 2021年3月29日

氏名: _____

(大腿部頸部骨折地域連携パス対象) 術後の転院調整を行わせていただきます

月日(日時)			～	～	
経過(病日等)	入院	手術当日	術後1日	術後2日～10日	術後11日～14日 退院
達成目標	入院・手術に対するオリエンテーションが理解できる	不安が軽減し手術が受けられる 手術後の異常・痛みを訴える事ができる 尿管による合併症を起こさない	手術後の異常や痛みを訴えることができる 尿管による合併症を起こさない	痛みが和らぎ歩行ができる リハビリに意欲がある	脱臼を予防する為の方法が理解できる 退院可能な日常生活動作を獲得できる 不安なく退院できる。
治療・薬剤 (点滴・内服)	内服薬の確認をします お薬・お薬手帳をお持ちください 薬剤師が薬の指導に伺います	お薬は指示されたもののみ内服します 手術前に点滴をします(手術が8時半 予定の方は手術室で行います。) 点滴は翌日まで行います 手術後は内服は禁止です 痛みが強い時は医師の指示で痛み止 めを使います。	食事が十分にとれば点滴が終了で す 痛み止めの内服が始まります中止薬 がある場合再開の確認をします		
処置	手術部位に印をつけます	術後は傷口に血抜きの管が入っていま す医師の許可が出るまで、酸素マスク・ 心電図モニター・血栓予防の機械を足 につけます	医師の許可で、酸素マスク・心電図モ ニターを外します。 起立が出来たら血栓予防の機械は外 します	術後2日目に傷の消毒をします 血抜きの管を抜きます 術後7～10日で抜糸をします	
検査	入院後採血	手術後にX線検査・採血	朝、採血	術後10日にX線検査 術後7日後に採血	術後14日後に採血
活動・安静度 リハビリ	制限ありません必要時看護師 が付き添います	手術後はベッド上安静です 手術後は脱臼ないよう体位を整えて行 きます	起きることができます リハビリが開始となります	歩行器歩行ができます 動作が安定するまでは看護師が付き 添います リハビリ室で訓練が始まります	杖歩行訓練します
食事	21時から飲んだり食べたりできません	飲んだり食べたりできません うがいをすることは出来ます	お腹の動きを確認してから食事再開で す		 
清潔	シャワー浴をします 自宅で入浴された 方は看護師にお伝えください	手術前に歯磨きを念入りに行っておき ます	身体を拭きます	病状に合わせてシャワー浴ができます	
排泄	排便の確認をします	尿管が入っています 排泄はベッド上です		術後2日で尿管が抜けてトイレででき ます	
患者様及びご 家族への説明 生活指導	入院・手術のオリエンテーションをしま す 同意書・T字帯をお持ち下さいパン フレットを使用し、脱臼予防の説明をし ます スリッパではなく履きやすい靴・靴べら をご持参ください 麻酔科医の診察があります 手術室看護師の訪問があります ※65歳以上の方は介護保険申請検討 してください	点滴前に手術着に着替えます ご家族は手術30分前にお越しください 手術中家族は病棟内でお待ちください 手術後は翌朝までベッド上安静です脱 臼予防の為、寝返りは看護師が介助し ますのでナースコールして下さい 手術後は帰室後1時間・2時間後以後 4時間ごと検温に伺わせていただきま す	退院調整を行っていきます	出来るだけ車いすではなく歩行器など 使用していきます ☆当院は急性期の病院です。退院目 標日までに退院できない場合は回復期 や療養型の病院に転院のご相談させ ていただくことがあります。リハビリ状 況みて調整をさせていただきますので ご理解・ご協力のほどよろしくお願いし ます。	術後11日～14日で退院です 退院日をご相談ください 退院は9時半頃です 看護師より退院・退院後の生活次回外 来について説明があります 自宅では座布団等を足の間に挟んでく ださい

400751

注1 病名・入院期間等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。